

令和8年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野		開講時期	2年前期	
授業科目名	地域・在宅看護論		単位数	1単位	
	在宅療養を支える技術 I		時間数	15時間	
講師名	瀬戸 広子	所属	訪問看護ステーション わかば	資格・免許	看護師免許
		職名	看護師		
事前学習内容					
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく					
科目全体のねらい					
地域で生活する人々と、その家族の日常生活援助について理解し展開する					
教育目標との関連					
<p>(1) 命の尊さや思いやりを基調に、人々と協和し、良い人間関係を築くことができる。</p> <p>(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。</p> <p>(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。</p> <p>(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。</p> <p>(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、より良く生きることを支援できる。</p>					
科目目標					
地域で療養生活を送る人と家族をアセスメントする					
暮らしの場で行われる日常生活援助技術と工夫を理解する					
回	授業内容			方法	
1	地域・在宅看護論の個別支援：在宅看護過程			講義	
2	地域・在宅看護論の個別支援：在宅看護過程			講義	
3	地域・在宅看護論の個別支援：在宅看護過程			講義	
4	家族支援			講義	
5	生活を支える技術と医療ケア（食事・栄養の援助）			演習	
6	生活を支える技術と医療ケア（排泄の援助）			演習	
7	生活を支える技術と医療ケア（清潔の援助）			演習	
8 (45分)	生活を支える技術と医療ケア（移乗・移動の援助）			演習	
受講上の注意			評価方法	筆記試験 100点	
使用するテキスト 地域在宅看護の基盤・地域在宅看護の実践（医学書院）					
参考文献 写真でわかる訪問看護アドバンス（インターメディアカ）					

\* 地域医療での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する